

## 令和5年度第2回防府市図書館協議会

日時：令和6年2月13日(火) 午前10時～午前11時

場所：防府市役所 1号館3階南北会議室

### ■出席者

(委員)藤村会長、安光副会長、岡委員、岡田委員、杉山委員、津田委員、  
新田委員、山崎委員(計8名)

(事務局)江山教育長、高橋教育部長、松田教育総務課長、大野図書館長  
御手洗図書館管理室長

(欠席)吉武委員、有吉委員

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和5年度第2回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

本日、お集まりの委員の皆様には、大変御多忙の中、御出席を賜りましてありがとうございます。

それでは、手元の会議次第にしたがいまして進めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、これからの会議につきましても、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

(会長挨拶)

#### ○議長

それでは、今回の会議につきましても前回までと同様に、会議及び会議録につきましても、「公開」ということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

では、異議なしということで、「公開」で進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

それではこれより議事に入ります。スムーズに運びますように、御協力お願ひします。

議題1の令和6年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

今年度第1回協議会におきまして、令和4年度の図書館の事業の実施状況評価をいただいておりますので、今回の会議では、これらを踏まえて、図書館の

令和6年度の事業計画案を作成しました。

図書館の事業計画は、指定管理者である防府市文化振興財団の事業計画の一部でもあるため、明日2月14日に予定されている財団の理事会を経て、正式決定となるため、現時点での計画は(案)の段階でございますが、図書館協議会の委員の皆様にご説明をさせていただきたいと思っております。

さて本日は、図書館から令和6年度の図書館の事業計画を項目ごとに御説明し、皆様の御意見や御質問をいただきたいと存じます。

それでは、図書館長から御説明いたします。

○館長

皆様には、あらかじめ資料に目を通していただいているという前提で、ここでは令和6年度からの変更点や、特に重点的に取り組んでまいりたいことを中心に御説明させていただきます。

なお、時間の都合上、各項目名についてはいちいち読み上げることはせず、数字番号で御説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

まず、1ページ目の1-(1)の①でございます。電子書籍の購入については、購入冊数こそ今年度と同じ500冊ですが、小中学生の利用を増やすため、児童書の比重を高めてまいりたいと思っております。今年度は小野中学校と右田小学校において全児童・生徒が利用できる環境を整えていただきましたが、来年度も、教育委員会にも御協力を願って、さらに利用促進に努めてまいりたいと思っております。ちなみに、紙の本にける児童書の割合は約22%であるのに対して、電子書籍では約30%です。

続いて、1-(3)の①でございます。移動図書館車のサービスステーションについては、来年度に向けて運行コースや滞在時間、ステーションの一部変更など全般的な見直しを行ったところ、「華浦・新田・向島・中関コース」においては、かつてステーションとしていたマックスバリュ新田店跡にオープンしたハローズ防府新田店の方が利用しやすいという利用者の声があり、またその方が利用者数の増加が見込めることや、キリンレモンスタジアム武道館横での貸出冊数は、かつてのマックスバリュ新田店での貸出冊数の半分程度に減少していることから、キリンレモンスタジアム武道館横を廃して、ハローズ防府新田店を新ステーションとすることにいたしました。

皆様方の御手元に、移動図書館車の4月からの運行表も届いていると思っておりますので、後ほど御確認いただいたらと思っております。一部、ステーションの滞在時間も変更しておりますので、併せてご覧下さいませ。

○議長

今の御説明に対する御質問、御意見がございましたら、お願いします。

NHK のテレビで見ましたが、能登半島地震の際に隈研吾さんが設計し、木材を多用した素晴らしい富山市立図書館で、震度 5 強で 10 万冊の本が書架から落ちたということでした。それを元に戻すのは大変だろうなあと思ったのですが、ルルサスは震度については問題ないと思うのですが、図書館としての地震対策はありますか。

○館長

地震につきましては、御存知のとおり耐震構造になっておりますので、震度 7 までは崩れることはないの心配ないのですが、図書館内につきましては、棚が固定されておりますので、棚が倒れることはまずなかろうかと思っております。この数年で起こりました地震のうち、震度 4 が 2 回ほどありましたが、その際には、棚から数冊落ちたくらいの被害でした。地震は、いつ起こるか分かりませんので、毎年の消防訓練と兼ねて、3 月と 10 月の蔵書点検の折に、特に 3 月には地震対応ということで避難訓練を実施しております。今年も来月、3 月には、地震対応、その後火災が起きたという避難訓練を実施する予定にしております。

○議長

県内でも、鳥取西部地震で、岩国は震度 5 強で、防府か周南も 5 弱だったのかな。岩国は、ずいぶん本が書棚から落ちたと聞きました。書架間の上部に木材を渡して補強したり、図書が落ちるのを防止する柵を書架に設置したりするなどの対策をしているようですが、最近では、書架が動かないように固定しているようですね。

○委員

事前に資料を配付いただきまして、ありがとうございました。

電子書籍購入目標冊数についてですが、令和 4 年度には購入冊数が 1,000 冊だったものが、購入冊数を見直したいということで、令和 5 年度には 500 冊になるということでした。お聞きしたいのは、電子書籍の収集方針についてです。そういうものがあるのかです。まだ他にも聞きたいことがあります。まずは教えてください。

○館長

収集方針については、紙の本と同じでございまして、防府市の図書館資料収集要綱に基づいて、基本的には偏りが無いようにということで収集しておりますけれども、先ほど申しましたとおり、児童書を増やしたいということで、今後は少し、その割合が紙の本とは違って、児童書が増えてくるという見通しになっています。

○委員

先ほど、小中学校の子どもたち対象にというお話を伺いまして、私はとても

うれしく思っています。というのも、前にも質問したと思うのですが、山陽小野田のように学校の子どもたちに ID とパスワードを配付すれば、防府市の小中学校の子どもたちが防府図書館の資料（電子書籍）を見られるようにという話をした際に、それに対応する児童書が少ないという話を思い出しながら、少しずつ改善していこうとしておられることが読み取れました。

それから、聞き洩らしたのですが、電子書籍の利用のパーセンテージが高くなってきているということですが、さきほど館長の御説明の中で、どこかの小学校対象に利用促進を行われているということについて、内容が十分に理解できなかったのをお願いします。

○館長

今年度、まず、小野中学校の方から、小規模校ですが、生徒数が少ないということから、1年生から3年生の全員で電子書籍を利用したいという御相談を受けまして、学校と協力いたしまして、全生徒に利用カードを配付いたしました。

また、右田小学校、これはかなり大きい小学校ですが、同じ様に1年生から6年生までの全児童に利用カードを作らせたいということで、つい先だって1月中旬に、利用カードの作成を終わったところです。実質的に利用されるのは、来年度からではないかということをおっしゃっておられましたが、右田小学校では校長先生が職員会議にかけて全保護者に依頼文を出されて、ぜひ利用させてくれということでした。

総合的な学習の時間ですとか、あるいは朝読など、いろいろな利用の仕方があると思うのですが、今のところ小中学校各1校ずつが全児童に利用ができる環境を作っていたというところがございます。

○議長

1-(2)-④の設備・備品に関連して、図書館まつり実行委員会から去年は、布絵本の棚を寄贈していただいて、今年度は、紙芝居書架を寄贈するような話を聞きましたが、いかがですか。

○委員

今年度の図書館まつりにおいて、古本の売り上げが10万を超えましたので、紙芝居のコーナーを充実させるために、この度、実行委員会で紙芝居架を3台図書館に寄贈することが決まりました。それを、皆様にお披露目できたらいいと思います。

○議長

去年の図書館まつりですね。あの時、初めて20万円を超えたと聞いています。続きまして、大項目2をお願いします。

○館長

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

続いて3ページ目、2-(1)-①でございます。今年度の「図書館まつり」においては、市内4高校のインターアクト部及びボランティア部の皆さんに、ボランティアとしての参加を呼びかけたところ、およそ20名もの参加がありました。図書館で活動されているボランティア団体や生涯学習グループの皆さんとともにまつりを盛り上げてくれました。来年度も引き続き各高校に呼びかけてまいりたいと思います。

また、2-(2)-①でございますが、ボランティアとしてご協力いただいている団体の皆様も、メンバーの高齢化ということがあり、また、若いボランティアを育成していくうえでも、「図書館ボランティア養成講座」の内容を見直してまいりたいと思います。なお、現在、県内他館の「図書館ボランティア」の状況について問い合わせしておりますが、当館においても今後を見据え、「図書館ボランティア」の募集を検討してまいりたいと考えています。まだ確定ではございませんが、一般ではなくて、中学生や高校生のボランティアを募集しようということで計画を進めています。

○議長

今の件につきまして、御質問や御意見がございましたら、お願いします。

○委員

昨年度の図書館ボランティアでは、母親クラブでは何人でもお受けしようと思っておりましたが、当日は、とても絵の上手な女の子の生徒さんが来られました。缶バッチの作成をしたのですが、何を描いてもそっくりに描くことのできる子で、子どもたちが大変喜びまして、材料費100円で作ることができたのですが、その生徒さんたちにいろいろと素晴らしい絵を描いてもらいました。絵の上手な方だからというのではないですが、その場の雰囲気も大変良く、缶バッチのコーナーも大変盛り上がりまして、楽しい時を過ごしていただいたのではないかなと思っております。

私たちのクラブも来てくれた子どもたちも、大変楽しく過ごせましたので、次年度も来ていただけるようであれば、男子・女子、絵が上手・下手というのではなくて、その場を盛り上げるために、うちのクラブはぜひお願いしたいと思っております。

○議長

そういう方が参加されるといいですね。

県立図書館でのボランティアをされた委員がおられますが、県立は一般のボランティアを募集されてはいますが、その点で何かありますか。

○委員

正式名称が図書館サポーター制度で、それに2年間登録をしたのですが、一般の人が登録をして研修を受けて、書架の整理とか図書の修理についても研修

を受けてから行うのですが、そのボランティアの部分と図書館の中の見学とか、その際にやっているイベントの解説をしていただくとか、図書館の中を知るという経験もでき、とても有意義な時間を過ごさせていただいたと思います。これは、月に1回程度、年間で10回あるかないかで、参加出来る時に参加してくださいという方式でした。なかなか良かったと思います。

○議長

そうですね。やはりボランティアあるいはサポーターの方を募集される時は、研修が必要でしょうね。他にはよろしいですか。

では、大項目3についてお願いします。

○館長

3 生涯学習の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

続いて、同じく3ページ目、3-(1)の①でございます。「ワークショップ」については、6月9日に開催する「子ども読書フェスティバル」において、神戸在住の絵本作家、山本孝さんによるワークショップを開催する予定です。なお、それに併せて、図書館内でもおはなし会などのイベントを企画し、より多くの子どもたちが参加できるイベントにしたいと考えています。

また、「防府図書館ビブリオバトル」については、中学生大会や高校生大会を開きましたが、市内への普及を図るため、市内の各学校への働きかけを強化してまいります。

○議長

この中で、「大人のくらし塾」「読書感想文講座」など、館長が担当されている講座がありますよね。お聞きするところによりますと、館長がこの3月で退任されるということですので、その後はどうなりそうなのでしょうか。

○館長

イベント中で「大人のくらし塾」につきましては、防府市に登録をされているいろいろな講師の方に、2日間ずつ前期・後期に分けて、都合4日間で開催しておりますけれども、「読書感想文教室」につきましては、私が始めたのですが、実は今年度から後継者を育てるということで、教員免許・司書・学芸員の資格も持った職員が担当し、私がフォローするという形で実施しました。今年もきちっとやってくれましたが、来年度は、その職員がしっかりやってくれると思っております。

○議長

後継者が育成されているということで、いいですね。

他はよろしいですか。

資料展示をよくされており、職員が作成されたものも展示されていますが、

ほんとに皆さんが多彩多芸だなと思っているところです。資料展示につきましては、例えば伊集院さんが亡くなられた時などは、すぐ本の紹介展示をされておられましたね。職員研修を兼ねておられると思いますが、職員の負担はいかがですか。

○館長

私どもは、月例の整理日から次の整理日までの1か月間、館内の3か所でしておりますが、それぞれ担当を振り分けて、1年間計画的に展示しております。

それ以外に2か所、一般の展示コーナーと児童書のコーナーに大体、2週間に1回、場合によっては1か月の展示になりますので、かなりの回数になるのですが、基本的には職員に順番に割り当てております。議長が言われたように、職員の研修も兼ねて担当させております。それ以外に追悼展示が時々入ってきます。ちょうど伊集院さんの話が出ましたけれども、特に本に縁のある方の追悼展示をいたしました。いずれも2週間程度で、職員の研修も兼ねております。

○議長

利用者もそれを見て、本を借りられると思いますが、職員はなかなか大変だと思いますが、いい企画ですね。

では、つづきまして、大項目4についてお願いします。

○館長

**4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館**

続いて、同じく3ページ目、4-(1)の②については、今年も上山満之進翁の誕生月に合わせて、ブラウジングコーナーにおいてパネル展示を行います。これによりまして、上山翁と三哲文庫を顕彰ということに代えさせていただきます。

また、令和6年度は、4月22日、大韓民国江原道春川市立図書館との資料交換協定締結がちょうど20周年を迎えることとなります。それに関連して館内にて特別展示を行います。交流事業を通じて姉妹都市との連携を再確認するとともに、国際理解を深めるための一助としたいとおもいます。

○議長

はい。何か御意見、御質問がございましたら。

春川市との交流についてですが、以前に、前館長の森川さんが直接訪問されたと思うのですが、あれは10周年か何かですか。

○事務局

定かではないのですが、10周年の節目ということではないですが、春川市の図書館へ行かれました。

○議長

他に何かございますか。

4-(1)①に地域資料(郷土)となっておりますが、地域資料という場合は郷土資料

プラス行政資料かと思いますが、例えば市役所が発行する市広報はもちろんですが、パンフレットやリーフレットなどの行政資料ですね。各部局から発行されるような資料、特に文化財から出される冊子などがありますが、そういったものが発行された時に、各部・課との連携というものはありますか。

#### ○事務局

市役所で発行された資料については、図書館管理室を通して、または図書館に直接送るようになっておりますので、図書館では届いた行政資料を行政資料コーナーに設置している状況でございます。

#### ○館長

ちなみに市議会の定例議事録あるいは市広報などはもちろんのこと、一般会計報告や予算書などは参考コーナーに常備しておりますので、いつでも利用いただける状況になっています。

#### ○委員

県立図書館も行政資料を集めていますが、ここよりも規模は大きくなると思うのですが、難しいのは、紙媒体が少なくなっているのです。電子媒体が多いということです。ネットから出たものをプリントアウトして。提供できる形にしてというところで、かなり時間を要すると聞いていますが、今お聞きすると、冊子体という言葉が出ましたが、今や電子図書館を導入している防府市立図書館ですから、紙媒体だけではなく電子媒体の資料を収集していくという風に、いずれは変わっていくのではないかと思います。望んでいるわけではないのですが、それも時代に合わせていくしかないので、そちらも御検討いただきたいなと思います。

#### ○議長

国立国会図書館は、定期的に各自治体の電子媒体の資料を、ホームページなどを収集されていますね。

では、続けて大項目5をお願いします。

#### ○館長

##### **5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館**

続いて4ページ目、5-(2)-①でございます。令和4年度から、山口県央連携都市圏域図書館利活用促進プロジェクトチーム、いわゆるナナシマチによる「ナナシマチスタンプラリー」に合わせて、その期間内に各図書館でも講演会等のイベントを企画開催していますが、今年度はブラウジングコーナーでの、チェロ奏者田中雅弘さんを招いての音楽会「詩とともに音楽を愉しむ」を開催しまして、大好評でした。ブラウジングコーナーに80人を超える方が集まられて、大変好評でしたので、できれば定例化して、来年度も年に一回はこうした企画を考えていきたいと思っております。

また、アスピラートやソラールとの連携企画としての展示のほか、山頭火ふるさと館との講師の相互派遣など、MLA 連携を更に強化してまいりたいと思います。

○議長

御質問、御意見ございましたら、お願いします。

田中雅弘さんのチェロの演奏会には、私も参加しましたが、図書館職員が詩を紹介されて、それに関連するチェロの曲の演奏がありました。現在、放送中の笠置シズ子さんを題材にした朝ドラ「ブギウギ」に出てくる羽鳥家（服部家）と田中さんは交流があるということで、毎朝、見ておられるそうなのですが、服部良一さんが作曲され、渡辺はま子さんが歌われた「蘇州夜曲」を演奏されて、懐かしかったですね。田中さんは、毎年冬にアスピラートで演奏をされていますが、また図書館でもやっていただけるといいですね。

それと、図書館は、文化財団内のいろいろな連携もあって、MLA 連携については、大変すばらしいですね。生涯学習課の講座がルルサス化センターに移転されて、その関係で相乗効果ではないですが、何か連携をされていることがありましたら。

○館長

積極的とは言えないかもしれませんが、生涯学習フェスティバルには展示という形で参加しておりますし、今年、生涯学習課ではないのですが、防府福祉まつりにも展示という形で参加しております。ルルサスで催し物が行われた時には、ほとんどの場合が展示という形にはなりますけれども、参加させていただいております。

それ以外に、今年から始まったのですけれども、2階にあります協働支援センターの幹旋と申しまししょうか、ルルサス文化センターや周防夢座、協働支援センターを含めて、いわゆるルルサスの活性ということで、運営委員会を秋と春先の年2回開き、その中で情報交換をしている状況です。

○議長

はい、ありがとうございます。

それでは、つづきまして大項目6についてお願いします。

○館長

#### **6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館**

続いて同じく4ページ目、6-(1)の①でございます。

子どもの読書活動の推進ということで様々なイベントを行っておりますけれども、先ほど御指摘のありました「読書感想文教室」あるいは「子ども図書館員」は、非常に人気のあるイベントでございます。毎年参加希望者が殺到する状況です。以前は申し込みを先着順としていたため、公平性に欠けるとい

ことで、来年度からは「クリスマスおはなし会」も含めまして、抽選制でいこうということで、募集の仕方を一部変えております。

また、今年度は「聞いて得するふるさと講座」への登録を通じて、2件の出前おはなし会を開催しましたが、その他にも幼稚園・保育園から出前おはなし会の依頼が2件ございました。その一方で、この出張サービスについて御存知でない団体も多いことから、さらに周知に努め、子どもの読書活動の推進を図りたいと思います。

○議長

御質問、御意見をお願いします。

子ども向け行事の参加者ですが、コロナ前と比べて参加者は戻ったのでしょうか。

○館長

お話会につきましては、制限を外しまして、お話会を研修室からお話のへやへ戻してからは、ほぼ以前に戻っております。

研修室では、目につきにくいということですが、お話のへやへ会場を移してからは盛況でございます。

その他のイベントにつきましては、先ほど申し上げましたとおり、夏休み中心ではございますが、非常にたくさんの応募があって、コロナ以前に戻っているというふうに思っております。

○議長

図書館を使った調べる学習コンクールで昨年2度目となる上山満之進賞を設けたところですが、全国コンクールでも評価されたということですが、事務局から御説明をお願いします。

○事務局

御報告をいたします。今年度の防府市図書館を使った調べる学習コンクールは、令和5年8月2日から9月30日まで作品を募集いたしまして、小学校の作品が32点、中学校の作品が4点出てきておりまして、合計で36点の応募がありました。このうち、小学校の部は金・銀・銅賞を授賞しており、中学校の部は金賞1点のみ授賞しましたが、銀賞と銅賞の該当作品はありませんでした。これは、市のコンクールですけれども、この中から全国コンクールの方に、小学校の金賞と中学校の金賞の子の作品2点を送っております。先日1月に結果が発表されまして、小学校の部の作品は、優良賞をいただいております。中学校の部は、奨励賞をいただきました。賞について説明いたしますと、市のコンクールから全国コンクールへ推薦したすべての作品には、佳作という賞が与えられておりまして、その一つ上が奨励賞でございます。そして、その一つ上が、今回小学生の作品が受賞した優良賞でございます。ですから、今回、大変

優秀な成績を残したということになります。

ちなみに全体では、118,605点の応募がありまして、防府市からは36点が応募したことになります。優良賞は、全体の中から35作品が選出、奨励賞には266作品が選ばれております。一つ付け足しますと、上山満之進賞をとった作品は、中学校の金賞の作品ですので、全国コンクールでは、奨励賞をとった作品ということになります。

○議長

図書館を使った調べる学習コンクールは、毎年、優秀な作品が出てきているので頼もしく思っております。

各校長先生は、図書館を使った調べる学習コンクールについて、御意見がありましたら、お願いします。

○委員

コンクールの審査に2回ほど携わらせていただきましたが、毎年、素晴らしい作品が出てきております。これが回を重ねることによって、市民にも、それから子どもたちにも周知されているなあと感じています。素晴らしい賞をいただいたり、図書館で展示していただいたり、レプリカを作っていただいたり、応募した子どもにとってもうれしいことがたくさんありますので、これからも益々この活動が進んでいけばよいなと思っております。

○委員

先ほどありましたように、中学校の方は4点しか応募がなかったのですが、私も2回ほど審査に携わらせていただきましたけれども、小学校の方が読み応えがある作品が多いなという印象を持っております。今後は、しっかりと中学校の方でも調べる学習コンクールについて、各校にいろいろな情報を発信出来たらなと思っております。

○議長

特に今年の金賞は、本当に素晴らしくて、どちらもほぼ満点の評価でした。

それでは、大項目7についてお願いします。

○館長

#### 7 障害者や高齢者に優しい図書館

続いて同じく4ページ目、7-(2)の①ですが、一昨年4月の「ひなぎくネット」、昨年10月の「電子図書館」のスタートによって、インターネットを使った音声ダイジェストやオーディオブックの利用が可能になりました。しかしながら、ここまでのところ利用状況は期待していたほどではございません。ということで、対面朗読や郵送貸出等のサービスも含め、来年度は、広報活動の幅を広げて、その周知と利用促進に努めたいと思います。

なお、防府市の市役所庁舎の改築に伴いまして、これまで文化福祉センター

で活躍しておられました音訳ボランティア「翠の会」が、文化福祉センターが市役所へ移転することになったため、来年度令和6年10月から図書館を活動場所にされることが決まりました。また、情報交換を含めまして、協力できることはしたいと考えております。

○議長

何か御質問、御意見がございましたら、お願いします。

昨年度の委員からの図書館評価の中で、点訳や音読のボランティア養成講座をされたらという御意見がございましたが、手話も含めて、その養成についてはどうですかね。今、活動されているボランティアの御協力がないと難しいと思いますが。

○館長

今、防府図書館で活動しておられる障害者向けのボランティア団体はございませんので、今回の翠の会が今年からというふうに申し上げましたけれども、青い鳥の会さんも社会福祉協議会が中心になっております。年に一回ボランティア連絡会議がございますので、そうしたところでの情報交換はしておりますけれども、実際の連携というところまでは至っていないというのが実情でございます。

○議長

この間のボランティア連絡会議に、翠の会さんが出席されてましたね。

確かに、社協の方ということになりますね。他はよろしいですか。

それでは、全体をとおしての御意見、御提案、御要望等がございましたら。

○委員

子どもたちの健全育成ということで関わっておりますが、子どもたちが本に親しむということで、わっしょい文庫は、よくやっつけていただいていると思っております。先ほど、図書館を使った調べる学習コンクールに参加する中学生が少ないという話を聞きましたが、今、中学校では部活の見直しが行われていまずけれども、運動部だけではなくて、子どもたちのいろいろな可能性を考える時に、図書館が近くにあるとか、あるいは図書館が身近なものなのだなという発信をしていただいたらと思います。特に家庭に向けて情報を発信する時に、今頃はプリントを作って家庭に持って帰っても、学校ではとても煩雑になるから、電子媒体にしてスマホで配信等すると、すると保護者が見て、子どもには伝わらないというような事もありますので、何か工夫をしていただいたらと思います。

○議長

中学校の部活の見直しの関係で、文化関係の部活というのはありますか。中学校には読書クラブというようなものはあるのですか。

○委員

読書クラブというのは無いですね。文化関係と云ったら、吹奏楽部、美術部、文化違いますが、科学関係とか。学校によっては、文芸部があるかもしれませんが、私は把握しておりません。あと、ボランティア部として、いろいろなボランティアを行う部活動を作っておられる学校もあるかもしれません。

○議長

図書館としても中学校の文化関係の部会に働きかけをするのも、一つの方策かもしれません。

○館長

学校体育から社会体育へと変わりつつあると思うのですけれども、そういった文化活動におきましても、学校単位ではなくて、少子化の中で地域がそれを担っていくものが生まれてくるのだろーと思ひます。図書館としては、先ほどちょっと触れましたが、図書館ボランティアを中学生や高校生から募集していく中で、いわゆる、学校の枠を超えた市内の子どもたちのつながりの中で、将来のボランティアを育てていくという構想ではありますけれども、まだ随分先にならうとは思ひますので、積み重ねていければと思ひております。

○議長

それでは、その他について、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

今年度の協議会につきましては、今日が最後となります。令和6年度第1回図書館協議会では、令和5年度の事業の評価をしていただくこととなります。6月頃に図書館が自己評価したものを委員の皆様にお送りいたします。委員の皆様には、評価シートに御意見を御記入いただきまして、これを基にして第1回の会議を開催し、協議をお願いしたいと思ひております。開催時期は、7月頃を予定しております。

○議長

はい、わかりました。

本日は、令和5年度第2回目の協議会で、来年度の事業計画について図書館から説明を受け、委員の皆様の御意見をいただきました。今後も委員の皆様の御意見をいただきながら、図書館が生涯学習の中核施設、また知の情報拠点として図書館事業が充実したものになるよう、協議を進めていきたいと思ひます。今後とも御協力よろしくお願ひいたします。

これをもちまして、本日の議題等について、全て終了いたしました。

委員の皆様、ありがとうございました。

